

福知山市告示第216号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項後段の規定に基づき、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの期間における病院事業の業務状況を次のとおり公表します。

令和5年12月1日

福知山市長 大橋 一夫

福知山市病院事業業務状況報告書
(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

1 事業の概況

市立福知山市民病院 本院の当期末の延べ患者数は、入院は53,944人（一日平均 294.8人）となり前年度同期に比し 3,106人（一日平均17.0人）の減少、外来は118,837人（新型コロナウイルスワクチン接種者を除く。）（一日平均958.4人）となり前年度同期に比し2,818人（一日平均 30.7人）の減少となりました。

設備関係につきましては、来年1月の電子カルテシステム更新に向け準備を進めるとともに、産婦人科で使用する超音波診断装置用のプローブや小児科の保育器、透析センターの多用途透析用監視装置などの医療機器の整備・更新を進めました。

収支につきましては、患者数は減少したものの診療単価が上昇したことにより、診療収入は前年度同期に比し4.51%の伸びを示し、支出では薬品費などの材料費や経費等が増加しましたが、当期は1,023,407,021円の純利益を計上することができました。

大江分院の当期末の延べ患者数は、入院は 7,945人（一日平均 43.4人）となり前年度同期に比し722人（一日平均 3.9人）の減少、外来は 7,042人（新型コロナウイルスワクチン接種者を除く）（一日平均 56.8人）となり前年度同期に比し154人（一日平均 1.7人）の減少となりました。

設備関係につきましては、臨床検査用の生物顕微鏡や薬剤科の錠剤除包機を更新しました。

収支につきましては、患者数の減少により診療収入は前年度同期に比し5.27%下回りましたが、薬品費が減少したことなどにより、当期は33,531,853円の純利益を計上することができました。

この結果、病院事業全体では1,056,938,874円の純利益を計上しました。

2 経理の状況

令和5年度 上半期福知山市病院事業収支計算書

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	7,618,760,782	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	224,647,745	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看護学校収益	7,889,530	授業料収益、その他看護学校収益
4 訪問看護収益	12,800,815	訪問看護収益、居宅介護支援収益
5 特 別 利 益	86,318,130	その他特別利益
合 計	7,950,417,002	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	6,710,549,759	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	130,877,584	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看護学校費用	37,384,181	給与費、経費、減価償却費
4 訪問看護費用	14,666,604	給与費、経費
合 計	6,893,478,128	

(内 訳) 本院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	7,343,542,107	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	204,247,617	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看 護 学 校 収 益	7,889,530	授業料収益、その他看護学校収益
4 特 別 利 益	84,009,187	その他特別利益
合 計	7,639,688,441	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	6,450,220,046	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	128,677,193	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看 護 学 校 費 用	37,384,181	給与費、経費、減価償却費
合 計	6,616,281,420	

(内 訳) 大江分院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	275,218,675	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	20,400,128	補助金、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 訪 問 看 護 収 益	12,800,815	訪問看護収益、居宅介護支援収益
4 特 別 利 益	2,308,943	その他特別利益
合 計	310,728,561	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	260,329,713	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	2,200,391	支払利息、長期前払消費税償却、雑支出
3 訪 問 看 護 費 用	14,666,604	給与費、経費
合 計	277,196,708	

令和5年度 上半期福知山市病院事業貸借対照表

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	14,521,497,436	1 企業債(固定負債)	6,890,901,664
2 投資その他の資産	661,779,269	2 引当金(〃)	1,181,960,831
3 現金預金	5,859,588,883	3 企業債(流動負債)	466,351,160
4 未収金	2,523,875,570	4 未払金	855,599,582
5 貯蔵品	48,073,800	5 預り金	59,379,599
6 短期貸付金	1,000,000,000	6 その他流動負債	25,592,247
7 前払費用	6,926,140	7 長期前受金	1,143,525,875
8 その他流動資産	348,532,828	8 自己資本金	5,090,323,092
9 貸倒引当金(△)	3,623,254	9 資本剰余金	7,380,195,999
		10 利益剰余金	815,881,749
		11 当期純利益	1,056,938,874
合計	24,966,650,672	合計	24,966,650,672

(減価償却累計額 14,429,723,480 円)

(長期前受金収益化累計額 5,128,436,679 円)

(内訳) 本院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	13,831,457,890	1 企業債(固定負債)	6,553,047,922
2 投資その他の資産	641,080,270	2 引当金(〃)	1,119,179,572
3 現金預金	5,564,068,414	3 企業債(流動負債)	449,691,606
4 未収金	2,408,749,946	4 未払金	834,889,828
5 貯蔵品	48,073,800	5 預り金	59,328,879
6 短期貸付金	1,000,000,000	6 その他流動負債	25,084,131
7 前払費用	6,910,300	7 長期前受金	917,057,076
8 その他流動資産	342,994,917	8 自己資本金	5,090,323,092
9 貸倒引当金(△)	3,623,254	9 資本剰余金	7,278,156,635
		10 利益剰余金	489,546,521
		11 当期純利益	1,023,407,021
合計	23,839,712,283	合計	23,839,712,283

(減価償却累計額 13,771,974,509 円)

(長期前受金収益化累計額 4,468,494,736 円)

(内訳) 大江分院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	690,039,546	1 企業債(固定負債)	337,853,742
2 投資その他の資産	20,698,999	2 引当金(〃)	62,781,259
3 現金預金	295,520,469	3 企業債(流動負債)	16,659,554
4 未収金	115,125,624	4 未払金	20,709,754
5 前払費用	15,840	5 預り金	50,720
6 その他流動資産	5,537,911	6 その他流動負債	508,116
		7 長期前受金	226,468,799
		8 自己資本金	0
		9 資本剰余金	102,039,364
		10 利益剰余金	326,335,228
		11 当期純利益	33,531,853
合計	1,126,938,389	合計	1,126,938,389

(減価償却累計額 657,748,971 円)

(長期前受金収益化累計額 659,941,943 円)

3 企 業 債

(本院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平7年度	1,650,662	0	264,475	1,386,187
〃 〃 10 〃	243,242,954	0	19,126,125	224,116,829
機構企業債 〃 14 〃	335,468,440	0	19,963,407	315,505,033
〃 〃 15 〃	228,959,755	0	11,723,586	217,236,169
〃 〃 16 〃	247,374,526	0	11,180,018	236,194,508
〃 〃	168,260,141	0	7,604,467	160,655,674
政府企業債 〃	1,442,734,901	0	50,766,761	1,391,968,140
機構企業債 〃 17 〃	1,037,426,695	0	42,393,112	995,033,583
政府企業債 〃	1,731,647,609	0	57,894,305	1,673,753,304
機構企業債 〃 18 〃	199,697,702	0	7,359,690	192,338,012
政府企業債 〃	133,016,072	0	4,111,128	128,904,944
〃 〃 29 〃	98,400,000	0	0	98,400,000
〃 〃 30 〃	162,000,000	0	0	162,000,000
〃 〃	163,649,544	0	81,822,726	81,826,818
〃 令元 〃	193,003,860	0	48,250,241	144,753,619
〃 〃 2 〃	154,427,316	0	25,736,921	128,690,395
銀行等企業債 〃	14,789,317	0	2,458,915	12,330,402
機構企業債 〃 3 〃	389,700,000	0	48,686,932	341,013,068
銀行等企業債 〃	64,000,000	0	7,967,157	56,032,843
政府企業債 〃 4 〃	440,600,000	0	0	440,600,000
本院分 小計	7,450,049,494	0	447,309,966	7,002,739,528

(大江分院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平11年度	43,991,373	0	2,943,074	41,048,299
機構企業債 〃 15 〃	1,863,626	0	95,425	1,768,201
〃 〃 16 〃	23,373,583	0	1,056,362	22,317,221
〃 〃 26 〃	14,351,660	0	1,008,564	13,343,096
〃 〃	134,067,354	0	8,347,832	125,719,522
政府企業債 〃 27 〃	153,469,249	0	3,152,292	150,316,957
大江分院分 小計	371,116,845	0	16,603,549	354,513,296

合計	7,821,166,339	0	463,913,515	7,357,252,824
----	---------------	---	-------------	---------------

4 令和4年度(前年度)決算状況

令和4年度の病院事業の運営につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、福知山市民をはじめ近隣市町住民の高度・多様化する医療ニーズに応えるため、引き続き医療スタッフの確保や医療機器の整備更新を計画的に推し進め、さらなる医療提供体制の充実に努めました。

新型コロナは第7波、第8波と続けて流行の波が到来し病院事業運営上大きな支障となりましたが、入院患者の受入、発熱外来、PCR検査、ワクチン接種などの新型コロナへの対応と、救急医療・高度医療をはじめとする通常診療の両立・継続に総力を挙げて当たり、地域住民への安全で良質かつ安定した医療の提供に努めました。

設備につきましては、前年度から着手しておりましたリモートアフターローディングシステム(腔内照射装置)更新事業を年度当初に完了し、また、手術室の重症系麻酔記録等管理システム、放射線科の一般撮影画像読取システムや眼科の白内障手術装置等の更新・整備事業を進めました。

患者数につきましては、本院では入院は前年度よりも若干減少しましたが外来は増加し、患者総数では3,709人の増加となりました。大江分院につきましては、人口減少と高齢化が進む地域の医療ニーズに合わせ病床機能の見直しを図り、令和4年度から一般病床を地域包括ケア病床とし減床したことにより入院患者数は減少しましたが、外来患者数については増加しました。

収支につきましては、本院では患者数の増加に加え、がん治療や血管内治療などの高度医療や手術件数の増加、また結核病床と感染症病床を新型コロナ専用病床とし運用したことなどにより診療単価が大きく伸び、入院・外来診療収入は前年度比 7.1%と大きく増加しました。

支出につきましては、高額医薬品や手術材料などの材料費や委託料、修繕費の増加に加え国際情勢や円安に起因する原料価格高騰による電気・ガスといった光熱費等が大きく増加しましたが、診療収入が増加したことに加え新型コロナ対応に対する府補助金なども寄与し、本年度は 438,248千円の純利益を計上することができました。

大江分院につきましては、病床機能変更による入院診療単価の増加で、入院・外来の診療収入は前年度比99.7%とほぼ同額を維持することができました。

支出につきましては給与費、経費、減価償却費などが減少したことなどにより本年度は 58,166千円の純利益を計上することができました。

市民病院について

(イ)収支の状況

収益的収入 15,770,088,836円に対し、収益的支出 15,331,840,797円で収支差引 438,248,039円の当年度純利益となりました。

(ロ)患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 112,542人(1日平均 308.3人)、外来 240,391人(1日平均 989.3人)

(新型コロナウイルスワクチン接種者除く。)となりました。病床利用率は 87.10%(一般病床 88.06%、結核病床 45.57%、感染症病床67.26%)となり、前年度に比し一般病床が0.71ポイントの減、結核病床が20.55ポイント、感染症病床が 10.27ポイントの増となり、全体では0.23ポイント減少しました。

大江分院について

(イ)収支の状況

収益的収入 723,180,921円に対し、収益的支出 665,015,252円 で収支差引 58,165,669円 の当年度純利益となりました。

(ロ)患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 16,761人(1日平均 45.9人)、外来 14,718人(1日平均 60.6人)、病床利用率は 88.31%となり、前年度に比し8.56ポイント増加しました。